

緩和ケアボランティア



13B病棟では、毎月1回催しものをレクリエーションの一環として行っています。11月には盲導犬が来院し、入院患者様の心を癒していました。他にもピアノをはじめとする楽器を使った演奏、歌、ダンスなど様々な形で楽しませてくれます。

そうしたボランティアの他にも、病棟に設置されているキッチンでコーヒーやお茶いれてくれるボランティアの方たちがいます。「ティーサービスボランティア」といい、食堂に集まった方たちに飲み物をふるまいながら日々の悩みや、思うことを聞き取ったりします。緩和ケア病棟では多くの悩みを抱えて入院される方が多いといえます。そうした方たちに少しでも楽に入院生活を過ごしてもらおうとお手伝いをしている方たちなのです。

私たち職員は日々忙しく働いているとなかなかそうしたことに慣れてしまいがちですが、ここでは患者様のために、ということを考えさせられます。



がん相談室のご案内

がん相談室では、患者様やご家族からのがんに関する疑問や不安、悩みなどのご相談を、看護師や相談員をはじめとするスタッフが、一緒に考え、連携をとりながら問題解決の手助けを行います。お気軽にご相談下さい。

ご利用方法

【受付時間】

- *月～金曜日 午前9時～午後5時まで
- *土曜日 午前9時～12時まで(日祭を除く)

【相談方法】

- *面談は、原則として予約制となります。
- *各外来・病棟看護師に声をかけていただくか、直接がん相談室においで下さい。

お問い合わせ

【連絡先】 上尾中央総合病院 代表 048-773-1111

【場 所】 G館 4階 がん相談室

たとえば・・・

- がんと言われて、これからが不安ばかり・・・
- 治療や手術にかかる費用が心配で・・・
- 自宅での生活や日常の過ごし方について。
- 使える医療・福祉・介護の制度やサービスは？
- 家族として何かできることはありますか？
- ホスピス、緩和ケアって？家で介護をするには？

などの、不安や疑問。



*見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

編集 後記

近年は季節の移り変わりが激しく、あっという間に寒気がやってきました。これからはインフルエンザも本格化してきますのでくれぐれも体調に充分ご注意頂き、健康な年の始まりを迎えて頂ければと思います。

編集長 平田一雄

医療法人社団 愛友会

上尾中央総合病院

TEL.048-773-1111(代)

〒362-8588

埼玉県上尾市柏座1丁目10番10号

<http://www.ach.or.jp/>



- 発行:上尾中央総合病院
- 発行人:徳永英吉
- 編集者:平田一雄
- 編集:広報部会
- 内容に関するお問い合わせは 総務課広報係まで

文書番号 QIJH005



アウンクル

上尾中央総合病院 広報誌

～愛し愛される病院を目指して～

VOL.38

平成27年 1月発行

平成27年 年頭挨拶

明けましておめでとうございます。

新年のご挨拶を申し上げます。

さて、昨年12月1日に当院は創立50周年を迎えました。また、創立50周年の記念事業として建築中であったB館の第Ⅰ期工事も昨年5月に無事に竣工することができました。近隣の皆様には長い間、騒音のみならず工事車両の出入りなど大変ご迷惑をお掛けしており、この場を借りてお詫びを申し上げますと共に、重ねて厚く感謝申し上げます。

B館第Ⅰ期工事が竣工したことにより最新鋭の機器の導入、救急室の拡張、緩和ケア病棟の開棟、また新たな検診センターの開設等が実現致しました。今後の日本の高齢者人口は年々増加し、2025年には3,657万人、2042年にはピークを迎え3,878万人にまで達することが予測されております。高齢者人口が増加することに比例し、医療機関が担う役割の重大さも増すばかりであり、今後も地域の基幹病院として求められる役割や期待に対しより一層、責任を持って応えてゆく所存でございます。

また、今後につきましても健全な病院運営及び地域住民の皆様にも求められる医療を継続して提供すべく、病院全体で一丸となり邁進してゆく所存でございます。

これからも皆様からのご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。



院長 徳永英吉



地域医療連携の推進にご協力いただいている先生方

「地域医療連携とは？」

地域医療連携とは、地域の医療機関が自らの施設の設備や地域の医療状況に応じて、診療内容・医療機関の分担や専門化をすすめ、各医療機関が相互に円滑な連携を図り、専門機能を最大限有効に提供することを目的としています。当院は、地域の医療機関との連携を推進しており、様々な医療機関と連携することで、より質の高い医療を効果的に地域の皆様に提供することが可能になると考えております。この医療連携にご協力いただいている医療機関をご紹介します。

あげお在宅医療クリニック

標榜科：内科 消化器内科 外科

住所：上尾市上20-8

TEL：048-783-5801

■資格

- ・日本外科学会認定 外科専門医
- ・日本消化器外科学会 消化器外科専門医
- ・日本消化器内視鏡学会 専門医
- ・PEG・在宅医療研究会 専門胃瘻造設者 専門胃瘻管理者

平成26年6月1日に北上尾駅東口から徒歩12分旧中山道沿いに診療所を置き、訪問診療と訪問看護をご提供するクリニックです。在宅医療が必要な地域の患者さんとそのご家族が、安心して在宅療養ができるよう、安全で質の高い、信頼される在宅での診療と看護を提供する事を理念としています。

北里大学卒後、消化器外科医として勤務させていただき、その後は地域の基幹病院である上尾中央総合病院外科に在籍いたしました。その経験を生かし、気管切開や尿道カテーテル、胃瘻などカテーテルを使いながら在宅療養を望まれる方、がん末期や慢性疼痛で疼痛緩和をしながら在宅療養を続けていらっしゃる方に積極的に関わらせていただいています。

PEG・在宅医療研究会の認定する専門胃瘻造設者・専門胃瘻管理者資格を有しており、胃瘻カテーテル管理も在宅でできるようにいたしました。カテーテル管理だけではなく、栄養管理も在宅療養には欠かせませんので合わせてご提供させていただきます。

「患者さん、ご家族に一番近い医療支援チームであること」「質の高い医療を提供すること」を目標とし、地域の医療機関や介護機関と密接な連携をとりながら地域の健康増進に努めてまいります。

皆様へ

ご自宅で療養される患者さん及びご家族の方々に少しでもお役に立つことができるよう頑張る所存です。お気軽にご相談にいらしてください。

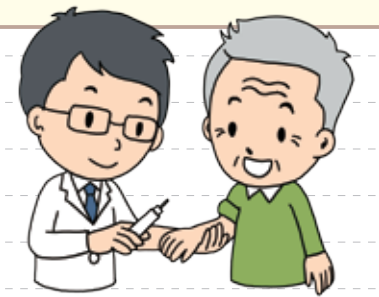
受付時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00～13:00	●	●	●	●	●		
15:00～17:30	●		●	●	●		



院長 宮内 邦浩



肺炎球菌ワクチンについて

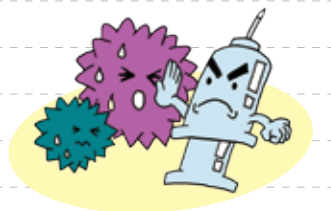


肺炎予防のためにできることのひとつに、肺炎球菌ワクチンの予防接種があります。

肺炎球菌による肺炎などの感染症を予防し、重症化を防ぎます。

肺炎球菌は肺炎の原因菌の中でも最大の 24.6%の割合を占めています。この肺炎球菌に耐性をつけるために推奨されているのが現在の定期接種で使用されているワクチンで、93 種類ある肺炎球菌の中でも23 種類の菌に効果があるとされています。数字だけ見ると少ないと感じてますが、この 23 種類の菌の中には成人の重症の肺炎球菌感染症の 7 割を占める種類が含まれていて、大変効果があるものといえます。 ※ただし、すべての肺炎を予防できるわけではありません。

また肺炎を予防するために、肺炎球菌ワクチンだけでなく、インフルエンザワクチンの接種も推奨されています。



以下に該当する方は、成人用肺炎球菌ワクチンの接種がすすめられています。

✓ 65歳以上の方

✓ 養護老人ホームや長期療養施設などに居住されている方

✓ 慢性の持病をお持ちの方

- 呼吸器疾患（COPDなど）
- 糖尿病
- 慢性心不全
- 肝炎や肝硬変などの慢性肝疾患など

✓ そのほか

- 病気や免疫抑制療法のため感染症にかかりやすい状態にある方
- 脾臓摘出などで脾機能不全のある方

日本呼吸器学会 成人市中肺炎診療ガイドライン（2007年）／医療・介護関連肺炎診療ガイドライン（2011年）より

※上記に該当する方は是非当院にご相談ください

成人用肺炎球菌ワクチンは、いつ接種したらいいの？

はじめて接種する方で65歳以上の方や慢性の持病をお持ちの方などは、肺炎球菌ワクチンの接種が推奨されています。接種は、1年を通して、いつでも可能です。肺炎球菌ワクチンをはじめて接種される方のみ該当年度に公費助成が受けられます※ また以前のワクチン接種状況や、アレルギー症状によっては副作用等の危険もありますのでかかりつけ医にご相談の上、ご受診ください。

※助成の有無や、助成内容については、お住まいの自治体によって異なる場合があります。上尾市では 65 歳(昭和 24 年 4 月 2 日～昭和 25 年 4 月 1 日生まれ)、70 歳(昭和 18 年 4 月 2 日～昭和 19 年 4 月 1 日生まれ)、75 歳以上の方(昭和 15 年 4 月 1 日以前の生まれ)が対象となっています(詳細は市にお問い合わせください)